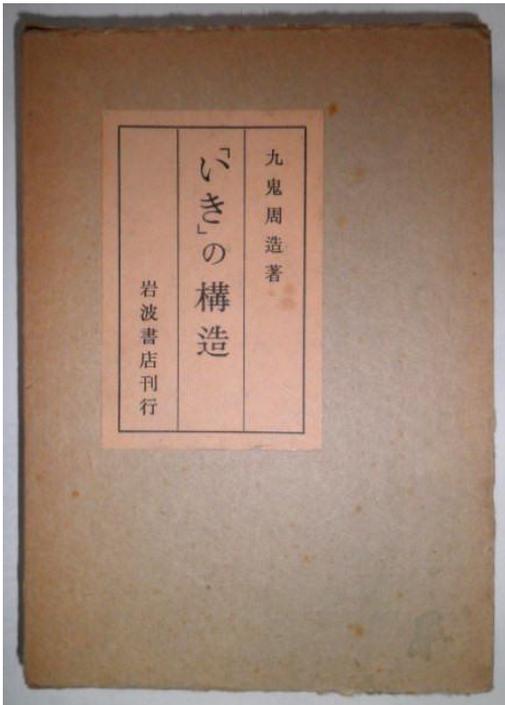


平成 24 年

# 文月講

## 講演「いき」の歴史的背景

7月（文月）講はおよそ「いき」とは縁遠い京都大学哲学科教授九鬼周造の初期の論文『「いき」の構造』をさかんに、江戸連のみなさんと「いき」について語ろうというのが主旨です。敵が大上段に振りかぶって論理でくるのなら、こちらは感覚でさらりと受け止めましょう。料理してくれるのは、江戸連会員の荒井孝昌さんです。いきな一席となるのか、野暮な講義で終わるのか、それは聞いてのお楽しみです。



九鬼周造著 岩波書店

### 講演「いき」の歴史的背景

荒井孝昌氏

「いき」とはカッコいいことである。しかしそのカッコよさにもいろいろある。御殿女中もカッコいいが町娘の浴衣姿もカッコいい。「いき」とは何かと問われるとその答えはなかなか難しい。そこでまず九鬼周造の『「いき」の構造』によって哲学的にその内容を理解し、次に「いき」がなぜ江戸で生まれ、江戸人の美意識となったのかを江戸時代という歴史的背景と江戸という街の持つ特殊性から解明しようとするものである。

### 講師紹介

荒井孝昌（あらいたかよし）

昭和15年（1940）北品川に生まれる。慶応義塾大学卒業。東京国際大学（川崎市）、平成22年退職。中学生の頃から落語が好きで、人に自慢できることは、志ん生・文楽を寄席の高座で何度も見ていること。

開催日：2012年7月14日(土)  
講演：15時～17時  
会場：日本橋伊場仙ビル 7階  
参加費：1000円

終了後に懇親会を予定しています。

JR総武本線 新日本橋駅(5番出口)徒歩6分  
地下鉄銀座線・半蔵門線 三越前駅

